

紙の都富士

地場産業の果たす役割

第3回紙モニター会議の講演から

地域経済の先兵に



県家庭紙工業組合理事長
丸富製紙株式会社
佐野 廣彦さん

中小企業の多い本市は、技術の向上、改革に努めながら企業間のグループ化、合同化なども考えていかなければなりません。

市場を見ると比較的恵まれるなど、立地条件は満たされています。東京などの大消費地が近いということです。

交通の便もよいのですが、一步街中へ入ると道路が狭いという問題があります。また、建物や設備の老朽化、用水、排水なども今後考えていかなければならない問題です。

近年、設備の自動化などによって労働力も量より質が欲求されています。若い優秀な人材を得るためには、従業者の待遇も改善していく必要があります。いずれにしましても、地域経済を発展、活性化していくために、地場産業である紙業界は、その先兵とならなければと思います。

古紙を大切に



県紙業協会専務理事
吉田 智吉さん

朝、起きてから、夜、寝るまでどのくらい紙と接触しているかを考えればわかるように、紙は私たちの生活に欠かせないものになっています。

紙は既に空気、太陽、雨と同じような存在になっています。

富士市は、このように重要な紙を生産するための条件に恵まれています。と同時に、業界も品質の改良、向上に日夜努力しております。

今後も業界が発展していくためには、地域の人々と連携して、地場産業である紙・パルプ産業の振興をはかることが大切です。また、消費者の側も古紙を活用することを考えてもらわなければなりません。古紙は死んではいません。まだ生きています。

日本でつくられる紙の半分は古紙が原料であるという認識を深めていただきたいと思います。

議長に植田祥之さん 副議長に関 勝雄さん

富士市議会9月定例会で、議案審議後、議会の役員改選が行われた結果、議長に植田祥之さん、副議長に関勝雄さんが選ばれました。



議長
植田祥之さん

昭和42年、富士市議会議員に初当選以来4期当選。この間、議運・常任・特別委員長を歴任。

住所は、久沢854番地の1、61歳。

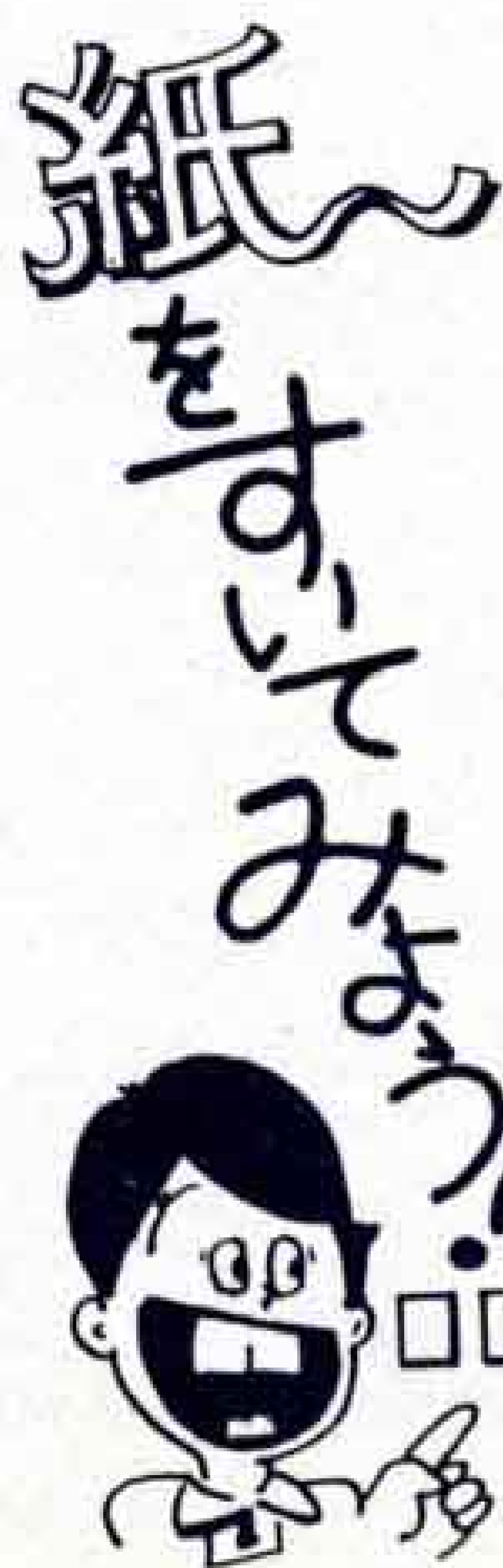


副議長
関 勝雄さん

昭和24年、旧吉原市議会議員に初当選以来3期当選。この間常任・特別委員長を歴任。

住所は、今泉1丁目15番12号67歳。

※なお、役員改選に伴い議会運営委員会委員長は遠藤義彰さん、副委員長は荻野一郎さんに決まりました。



☆用意するもの

- ・古い障子紙・すりばちとすりこぎ、木わく2組・すのこ・たらい・乾かす板

☆順序

- ①古い紙をすりばちに入れて形のなくなるまでする。半紙1枚に600ccの水で。
- ②たらいに①を入れて木わくではさんだすのこですくう。
- ③すくったものを板に移し乾かす。これでできあがり



市立博物館での紙すきの体験学習